

Toyama New Industry Organization

業支援センタ

創業・ベンチャーへの挑戦を応援し企業の経営革新を支援

1. 起業家の育成・支援

■ 創業チャレンジの支援

- 起業や新分野進出にチャレンジする県民を支援するため、大都市 圏のビジネスプラン発表会等への参加支援、起業セミナー等の開 催を行います。
- 将来に向けて起業を目指そうとする人材の底辺拡大を図るため、 県内の高校生、大学生、若者等を対象に、講演会を行います。

2. 創業・ベンチャー企業等の支援

創業等の支援

● スモールビジネス・コミュニティビジネスでの 創業チャレンジ支援

創業予定者からビジネスプランを募集し、新規性・独自性のある 計画または地域の活性化に貢献する計画に対して、創業時の初期 経費の一部を助成します。

	①製造業·建設業	②卸・小売・サービス業等 その他の業種
助 成 率	1/2	1/2
助成限度額	200万円	100万円

● UIJターン者に対する創業チャレンジ支援

富山県外から移住し、社会的事業に取り組む計画に対して、創業 時の初期経費の一部を助成します。

助成率	1/2
助成限度額	200万円

□ ビジネスインキュベーションの推進

県内各地のインキュベート施設入居企業に対して、インキュベー ション推進員等が必要な情報を提供するとともに、指導・助言します。

◎県内のビジネスインキュベート/13施設

一元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

株式や社債の引き受けによる長期低利の資金提供やコミュニティ ビジネスの融資に対する債務保証を行います。

❶間接投資	3社債債務保証
ベンチャーキャピタルによる投資 (株式取得・社債引受) 限度額5,000万円 償還10年以内	間接投資債務保証 保証料/年0.5% 保証割合/社債引受元本の70%
②直接投資	4融資債務保証

3. 経営の革新・活性化支援

窓口相談の実施

中小企業の経営や技術革新、新製品開発や販路拡大、新連携・地 域資源活用・農商工連携などさまざまな相談に対して、豊富な知識と 経験を持つ専属スタッフが対応します。

富山県中小企業支援センター

総合相談窓口

- プロジェクトマネージャー
- (ワン・ストップ・サービス) •マネージャー

 - サブマネージャー

専門家の派遣

高度で専門的な課題に対しては、経営、技術、情報化など多様な 分野の専門家を派遣し、確かな診断と助言を行います。

◎派遣費用/1回あたり3万円(事業主1/3負担)

□よろず支援拠点の設置

「富山県よろず支援拠点」では、中小企業診断士、社会保険労務士、 税理士をはじめとしたコーディネーターが、事業者の相談に応じ、 経営課題を分析、課題解決に向けた総合的・先進的経営アドバイス を行うほか、各支援機関との連携、課題ごとの適切なチーム支援など、 環境の変化や事業の成長段階に応じた支援を継続的に行います。



トモスメイカー合同会社

松田 大輔 代表

▶P.3 ● 創業・ベンチャー挑戦応援事業

独自のマーケティング手法でヘッドライト開発 支援メニューを活用してシリーズ化図る

大手プラントメーカーでエンジニアを経験した後で、ネット 通販の事業を始めた松田代表。大手通販サイトの商品の販売動 向を分析する中で、消費者ニーズを基に"売れる商品"を企画し 世に送ってきた。明るい「トモライト(夜釣り用)」はその一例で、 類似品の3倍の売れ行きを示すヒット商品になった。

平成30年の秋、台風の被災者より連絡が入った。「夜中の復旧作業で『トモライト』は役に立った。もう少し長時間使えたらよい」と。その声を生かして災害時用(7時間使用可)をつくるとこれも人気の商品に。そこでトモライトのシリーズ化を企画した松田代表は、令和元年の「創業・ベンチャー挑戦応援事業」の採択を受けて、自転車用ライトの開発に着手。ドライブレコーダーも搭載した画期的なライトで、その年末からの生産を計画したが、コロナ禍による状況の変化から生産をしばらく見送ることに。「今は雌伏の時。その終息を待って準備を始めるが、次なる商品のマーケティングも今のうちに進めたい」と松田代表は意欲的であった。



◀▼トモライトの夜釣り 用(写真左)と災害時用 (写真下)。「ある通販サイ トでは1年間で3万個近い 売上数を記録し「ライトの トモスメイカー」として知 られている」(松田代表) という。シリーズ化を図る 自転車用もそういったヒットを期待している。





■下請かけこみ寺の各種相談

中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって 対応します。また、紛争解決の迅速・簡便な手段としてADR手続き を行います。

□ 中小企業の経営改善、事業再生支援

中小企業再生支援協議会の常駐専門家が、取引先や金融機関と調整して中小企業の再生を支援します。また、経営改善支援センターでは、経営改善計画の策定等の費用につきその2/3を助成します。

事業承継・引継ぎ支援

親族内承継や第三者承継などの事業承継に関するさまざまな 課題を解決するため、事業承継計画の策定、経営者の個人保証の 解除、マッチングなどの支援をワンストップで行います。

□中小企業等の外国出願助成

県内の中小企業等が外国へ特許等出願する場合、その出願経費の一部を助成します。

	助 成 率
特 許 出 願	1/2以内(上限150万円)
商標登録出願	1/2以内(上限 60万円)
冒認対策商標出願	1/2以内(上限 30万円)

観光ビジネス支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新幹線敦賀延伸等に関連した 商品開発や様々なアイデアを生かした事業展開に対し助成します。

助 成 率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	100万円

※ただし、工具器具・備品費・構築物費・店舗改装費の助成額は50万円以内。

小さな元気企業の応援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内小規模企業者(グループ含む)の商品開発や販路開拓等の 取組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	50万円 (県外の販路開拓経費については、25万円*)

※ただし、首都圏 (東京·神奈川·千葉·埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。

地域資源を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)が富山県の指定する地域資源 (産地の技術や農林水産、観光資源)を活用した新商品・新サービス の開発やそれに伴って行う販路開拓事業に対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	500万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

農商工連携を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

中小企業者またはNPO等と農林漁業者が連携し、双方の経営資 源を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴う販路開拓事業 に対し助成します。

助 成 率	2/3
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具·備品費の助成額は100万円以内。

販路開拓の助成は、県外分25万円以内(首都圏(東京・神奈川・ 千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円以内)。 県外及び 国外分の両方で事業を実施する場合は50万円以内。

■ 防災·減災、感染症対策促進事業

事業継続計画を策定している、または、事業継続力強化計画の 認定を受けている中小企業者の防災・減災、感染症対策を強化する 取組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	100万円

4. 販路の開拓支援

■ 受発注取引のあっせん・紹介

県内中小企業の受注機会を増やすため、県内外企業の発注情報の 収集・提供をしています。

■商談会の実施

東京・大阪・名古屋地区で広域商談会を開催しています。

販路開拓の挑戦支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の展示会や見本市への出展、市場 調査、広報、海外マーケティング等の販路開拓事業に対し助成します。

	県外市場開拓	国外市場開拓
助 成 率	1/3	1/3
助成期間	最長2箇年度	最長2箇年度
助成限度額	25万円	50万円

※ただし、首都圏(東京·神奈川·千葉·埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。 県外分及び国外分の両方で事業を実施する場合の上限額は50万円。

首都圏への販路開拓支援

主に首都圏の企業へ自社製品を売り込みたい県内中小企業に対し て、コーディネーター等を活用して販路開拓を支援します。

5.情報化の支援

アフター・ウィズコロナにおけるネットビジネス支援事業

•アフター・ウィズコロナにおける展示会・商談会、講座の開催 (2コース)

■ 図書・ビデオ・DVDソフトによる情報提供

情報ビル1Fフロアで経営関連の図書や雑誌·新聞等の資料や、社 員教育·製造業関連·繁盛店情報など企業に役立つビデオ·DVDを 多数取り揃えております。

すべて開架式ですから、必要な図書やビデオ等を書架から自由に 取り出し、閲覧・視聴できます。

また、無料で貸し出しするサービスを行っています。

https://www.tonio.or.jp/info/library/